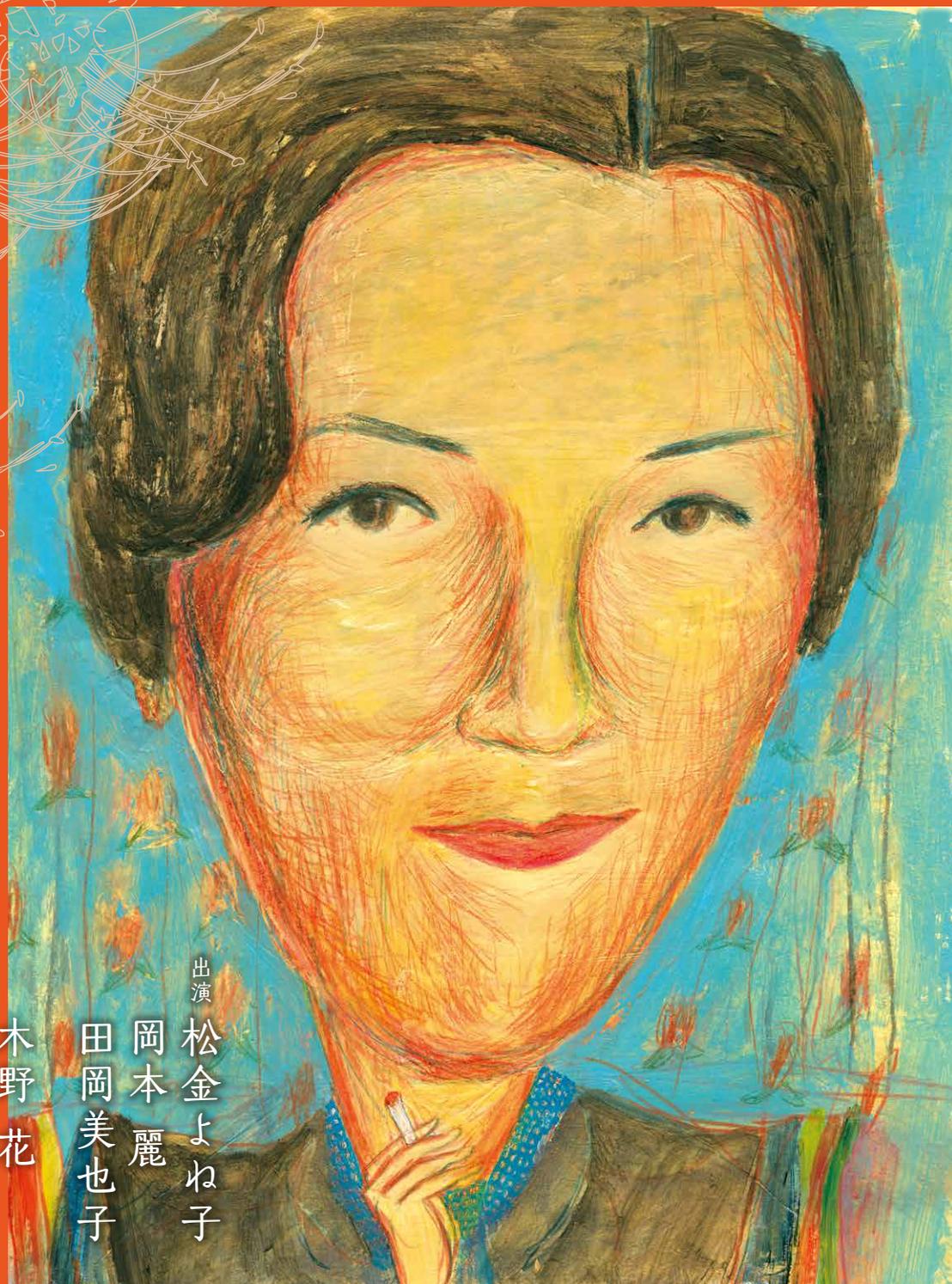


「現代詩の長女」と呼ばれ
戦後の女流詩人の先頭に立ってきた彼女には、
隠された素顔があった――



作 長田育恵

演出 マキノノゾミ

出演 松金よね子

岡本麗

田岡美也子

木野花

小林隆

小嶋尚樹

古屋隆太

第19回 鶴屋南北戯曲賞受賞作品

グループる・ばる Vol.24 さよなら身終の公演

蜜柑とユウウツ

— 茨木のり子異聞 —

2018年9月13日(木)～23日(日) 東京芸術劇場シアターイースト

蜜柑と ユウウツ

— 茨木のり子異聞 —

作 長田育恵 (てがみ座)
 演出 マキノノゾミ

詩人・茨木のり子が亡くなってから4か月後のある日。
 主を失った家に、甥と編集者らが未発表の遺作を探しにやってくる。
 だが部屋の中にはその様子を見守る先客がいた。
 3人の「のりこ」と、管理人を名乗る「タモツ」。
 異なる時空が幾重にも重なり「茨木のり子」の言葉と人生がよみがえる。
 終戦。結婚。そして別れ…。 遺された1冊の詩集をめぐる物語。

「戦後社会の在り様を見詰めた女性詩人の魂と生きた時代を多面的に
 描き出し、戦後から今につながる時代の空気を感じさせてくれた」と
 高い評価を得た秀作。
 グループる・ばる最終公演として、ついに再演!



松金よね子 岡本麗 田岡美也子 木野花 小林隆 小嶋尚樹 古屋隆太 (青年団)

一度だけのつもりで始まった私たちの芝居は、「愛がなくなったら別れようね」と誓い合って32年。思いの外長く続きました。
 毎回、私たちが大好きな人たちと芝居を創り、公演が終われば解散。先のことは考えず、いつも「これが最後」という気持ちで芝居を創ってきたような気がします。でも今回は敢えて【さよなら身終いの公演】と名づけ、グループる・ばるの最後の公演にすることに決めました。決して愛がなくなったわけでも、大好きな人たちがいなくなったわけでもありません。やりたいことはまだあるけれど、その情熱があるうちに、きっぱりと幕を下ろすことを選びました。

そして、身終いの公演に選んだのは『蜜柑とユウウツ～茨木のり子異聞～』です。3年前に初日の幕を開けた時、入りきれないほどのお客様に来ていただき、茨木のり子が作品に残した思いは、多くの人たちに支持されていることを改めて知りました。今、我々を取りまく状況は以前よりずっと悪くなっているような気がします。だからこそ、茨木のり子が伝えたかったその思いを、もう一度しっかり考えてみたいと思いました。
 私たちはこれからもそれぞれのフィールドで芝居をしていきますが、グループる・ばるとはこれでお別れです。どうぞ見届けてください。

グループる・ばる (松金よね子 岡本麗 田岡美也子)

2018年9月13日(木)～9月23日(日)

	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
	(木)	(金)	(土)	(日)	(月祝)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)
14:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●



● = 終演後、出演者によるアフタートークあり。
 受付開始・当日券販売は開演の60分前、開場は30分前。
東京芸術劇場 シアターイースト
 東京都豊島区西池袋1-8-1
 ☎03-5391-2111
 JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分
 駅地下通路2b出口直結

- 前売開始 8月1日(水)
- 料金 (全席指定・税込)
 一般 前売4,500円 当日4,700円
 25歳以下 前売3,000円 当日3,200円 (入場時身分証提示)
 ※U25はプリエール・東京芸術劇場ボックスオフィスにて取り扱い
- チケット取り扱い
 プリエール……………03-5942-9025 (平日11～18時) <http://priere.jp>
 東京芸術劇場……………0570-010-296 (休館日を除く10～19時)
 ボックスオフィス <http://www.geigeki.jp/t/> (PC)
<http://www.geigeki.jp/i/t/> (携帯)
 チケットぴあ……………Pコード: 486-146
 0570-02-9999 <http://t.pia.jp/>
 ローソンチケット……………Lコード: 32787
 0570-084-003, 0570-000-407 (オペレーター対応)
<http://l-tike.com/>
- お問い合わせ
 プリエール……………03-5942-9025 (平日11～18時) <http://priere.jp>

